

寒冷地形談話会通信

2003年度2号 [2003年7月16日発行]

<http://www.geo.ees.hokudai.ac.jp/kanreichikei/>

- ◆寒冷地形談話会通信第2号をお届けいたします。
- ◆本号は、先に行なわれました「第1回例会」の報告、「夏の学校」、「30周年記念講演」に関するお知らせが中心となっています。
- ◆2003年度「夏の学校」に関して、行動予定・宿泊場所などが決定いたしました。また、その募集締め切りが7月31日となりました。詳しくは【2003年度夏の学校のご案内（第2報）】をご参照下さい。
- ◆12月13日に明治大学において開催される「30周年記念講演」について、プログラムと基調講演の講演者などが決定いたしました。詳しくは【30周年記念講演（第2報）】をご参照下さい。

編集：小松哲也・黒田真二郎

事務局：黒田真二郎・小松哲也・縫村崇行（都立大）、佐藤剛（千葉大）、澤田結基・橋美由紀・松岡直子（北海道大）、池田敦・阿部正洋（筑波大）、天井澤暁裕・近藤玲介・溝邊貴彦（明治大）、福井幸太郎（国立極地研究所）

連絡先：〒192-0397 東京都八王子市南大沢1-1 東京都立大学大学院理学研究科地理学教室 寒冷地形談話会 代表 黒田真二郎
kanrei-jimukyoku@egroups.co.jp（事務局宛） Tel(代) 0426-77-1111 (内)3835 FAX 0426-77-2589（地理学科事務室）
会費振込：郵便振替 東京 00100-9-171342 寒冷地形談話会

【2003年度第1回例会報告】

2003年7月5日に第1回例会を国立極地研究所において開催しました。来聴者は約30名に及び、多雪山地における古環境復元をテーマとした2件の発表がおこなわれ、それぞれに活発な質疑応答がなされました。また、例会終了後の意見交換会にも多くの方が参加し、演者を交えての議論に花を咲かせていました。なお、発表されました内容の要旨については寒冷地形談話会ホームページ

<http://www.geo.ees.hokudai.ac.jp/kanreichikei/>

に掲載しており、ダウンロードも可能となっております。ぜひ、ご覧下さい。第1回例会での発表者と演題は以下のとおりでした。

- 1) 佐々木明彦*（東北大学）・荻谷愛彦（千葉大学）：日本海側多雪高山で完新世に何がおこったか—地形・土壌を用いた景観形成史の復元
- 2) 大丸裕武（森林総合研究所）：雪田土壌からの古環境復元



【第1回事務局運営会議報告】

2003年7月5日に国立極地研究所において第1回事務局運営会議が開かれました。出席者は黒田・小松・縫村（都立）、天井澤・溝邊（明治）、池田（筑波）、澤田（北大）の7名。「夏の学校」・「30周年記念講演」の方針について審議いたしました。審議の結果は、本通信の【30周年記念講演のお知らせ（第2報）】と【2003年度夏の学校のご案内（第2報）】にそれぞれ反映されておりますので、そちらをご参照下さい。

**【2003 年度夏の学校のご案内
(第2報)】**

今年度の「夏の学校」まで、残すところあと一ヶ月となりました。今回の「夏の学校案内」では、第1報ではお伝えできなかった行動予定・宿泊場所などについてお知らせいたします。なお、「夏の学校」に関しての不明な点、お尋ねしたい点などがありましたら、巡検案内人の縫村 (taka-nuimura@nifty.com) までご連絡下さい。

◆巡検のテーマ：

「氷河地形と火山：火山噴出物による影響と編年」

〈日時〉 8/17 (日) ~8/19 (火)

〈案内人〉 縫村崇行 (都立大),
 荻谷愛彦 (千葉大), 岩田修二 (都立大)

◆宿泊場所

山小屋への宿泊は行楽期であることから数の確保が困難なため、雷鳥沢キャンプ場にてのキャンプとし、小屋に泊まりたいという方は各自で手配をしていただくというかたちになります。

雷鳥沢キャンプ場
 室堂バスターミナルより徒歩 50 分
 料金 : 500 円/1 人 (何泊しても)
 施設 : 管理棟・水場・トイレあり
 連絡先: 雷鳥沢管理所 立山町芦峠寺ブナ坂外 11 国有林
 TEL090-1632-9141 (シーズン中)

◆行動予定

8/17 (日) 14:00 に雷鳥沢キャンプ場を出発 (※テント設営・荷物整理・昼食などはそれまでにすませておく。) 浄土沢沿いの数ヶ所の露頭にて室堂礫層、立山礫層、雷鳥台砂礫層などを観察。砂根山の道を通って雷鳥沢キャンプ場へ 17:00 頃帰着。



立山巡検ルートマップ図 (予定)

8/18 (月) 6:00 に雷鳥沢キャンプ場を出発。御山谷の谷底において、AT の火山ガラスが見つけれられたモレーンの頂部、そして湖成堆積物層の見られた露頭の観察。雷鳥沢キャンプ場に 18:00 頃帰着。

8/19 (火) 8:00 に雷鳥沢キャンプ場出発。新室堂乗越や、天狗平北側の崖を観察。室堂バスターミナルにて昼頃解散。

◆宿泊施設情報

雷鳥沢キャンプ場近くの宿泊施設としては
 雷鳥温泉雷鳥荘 室堂平 076-465-5777
 雷鳥沢ヒュッテ 室堂平 076-465-5727
 ロッジ立山連峰 室堂平 076-465-4594
 などがあります。なお、行楽シーズンのため混雑が予想されますので、山小屋への宿泊を考えている方は早めに各自ご予約下さい。その他の立山の宿泊施設情報については下記

のページにもものっていますので、
ご参照下さい。
<http://www.alpen-route.com/acs-hotel.html>

1-1 理学部棟 725
taka-nuimura@nifty.com

◆参加者受付窓口と締め切り

2003 年度の夏の学校に参加を希望される方は巡検案内人の縫村まで電子メールもしくは葉書で、氏名・所属・連絡先を記入の上、ご連絡下さい。なお、締め切りは7月31日必着とさせていただきます。

*縫村崇行（都立大学 M1）
〒192-0397 東京都八王子市南大沢

◆その他

都合により全日程の参加が不可能な方も、参加を歓迎しますので、合流できる時間など、縫村までご連絡下さい。

立山地域では典型的な氷河地形が存在しますが火山地域でもあるため、検討すべき問題は多くあります。少しでも多くの方に参加していただき、現地での討論を活発にできたらと思います。

【30周年記念講演のお知らせ（第2報）】

寒冷地形談話会発足30周年を記念した、記念講演会が12月13日に明治大学において開催されます。今回の「お知らせ」では、そのプログラムと基調講演の講演者などが決定しましたので、それらを中心にご報告いたします。

◆30周年記念講演会プログラム

12月13日（土曜日）

12:00～12:05 司会者によるあいさつ

12:05～12:45 講演（小疇尚氏）

休憩

12:50～13:30 講演（小泉武栄氏を予定）

13:30～14:30 ポスターセッション（若手ドクターおよび発表希望者）

14:30～15:10 講演（松岡憲知氏を予定）

休憩

15:15～15:55 講演（白岩孝行氏）

休憩

16:00～17:00 パネルディスカッション（総合司会：小野有五氏，パネリスト：未定）

18:00～ 意見交換会（明治大学周辺の別会場にて）

◇基調講演について

基調講演はポスターセッションを挟んで前半部と後半部に分かれます。前半の講演では“過去の総括”という観点から、小疇尚氏、小泉武栄氏に会の発足当時の雰囲気や目的、現在までに至る自身の研究への姿勢、寒冷地域の自然研究の今後を担う若手研究者や学生に望むこと、を中心にお話をさせていただきます。また、後半の講演では、松岡憲知氏、白岩孝行氏に“未来への飛躍”という観点から、研究最前線の話題、現在までに至る自身の研究への姿勢、

研究テーマとの出会い、を中心にお話をさせていただきます。

◇ポスターセッションについて

前半と後半の間のポスターセッションでは、“過去の総括”と“未来への飛躍”を繋ぐ“現在の研究動向”という観点から、ここ1～3年前にドクターになった若手研究者および発表希望者による研究発表をお願いしたいと思います。発表希望者の募集につきましては、通信第3号およびMLにて報告させていただきます。

◇パネルディスカッションについて

基調講演終了後は、総合司会者の小野有五氏と 5～6 名のパネリストの方々にパネルディスカッションをしていただきます。なお、パネリストの方々には 30～40 代の若手研究者を予定しております。決定次第、通信第 3 号などにて報告させていただきます。

◇意見交換会について

世代・学際を超えた活発な交流によって会が発展することを期待して、講演会の後に意見交換会を設けます。なお、意見交換会の会場は明治大学周辺の別会場を予定していますが、詳しいことは未定です。決定次第、通信第 3 号などにて報告させていただきます。

【新会員募集中!!】

当会は随時、新会員を募集しております。新規加入希望者は、1) 氏名 (漢字・フリガナ) 2) 住所 3) 電話番号 4) FAX 5) メールアドレス 6) 所属、を記入した電子メールを下記の事務局アドレスまでお送り下さい。なお、学部生以下の会員年会費 (メール会員) は無料となっています。

kanrei-jimukyoku@egroups.co.jp

【訂正とお詫び】

第 1 号通信の【編集雑記】において新事務局員の近藤 (明治大) のプロフィールに間違いがありました。以下に訂正いたします。

◇近藤 玲介 (こんどう れいすけ) : D2 2) koncha@kisc.meiji.ac.jp

会員の皆様にご迷惑をおかけしましたことをこの場を借りてお詫びいたします。今後は、このようなミスをり返さぬよう、より一層、校閲の徹底に努めたいと思います。

編集者一同